

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年4月24日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週			
	13週 3月23日～3月29日	14週 3月30日～4月5日	15週 4月6日～4月12日	16週 4月13日～4月19日
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	481 96.20	457 91.40	422 84.40	445 89.00
	30 6.00	32 6.40	18 3.60	8 1.60
	14 2.80	20 4.00	10 2.00	16 3.20
小児科定点	RSウイルス感染症*			1 0.33
	咽頭結膜熱*	6 2.00	2 0.67	2 0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	4 1.33	9 3.00	8 2.67
	感染性胃腸炎	11 3.67	25 8.33	9 3.00
	水痘		2 0.67	
	手足口病			
	伝染性紅斑			
	突発性発しん		3 1.00	2 0.67
	ヘルパンギーナ*			
	流行性耳下腺炎		1 0.33	
眼科定点	急性出血性結膜炎			3 3.00
	流行性角結膜炎			
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			
	マイコプラズマ肺炎			
	無菌性髄膜炎			
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)			
	川崎病			
	不明発疹症			

大崎保健所管内定点数: 内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間ににおける対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	—	—
備考	感染性胃腸炎		

【医療機関の皆様へ】

・感染症法に基づく、医師の届出に必要なアカウントの発行及びシステムのログインはこちら



3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- ・2類:潜在性結核感染症 男性1名

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- ・大崎管内での急性呼吸器感染症、新型コロナウイルス感染症の報告数は横ばいですが、県全体では増加がみられます。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の増加も見られることから、引き続き、咳エチケットの徹底や、手洗いなど、基本的な感染対策を徹底しましょう。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- ・新たな集団発生の報告はありません。

- ・保健所では、御希望の施設に職員を派遣して、研修会を実施しています。
- ・研修会では、講話の他、吐物処理やPPEの着脱、手洗い等の演習も実施可能です。
- ・御希望があれば、右記番号まで御連絡ください。

【感染症コラム～レジオネラ症～】

- ・レジオネラ属菌は土壌や環境水中に生育する菌で、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器や循環水を利用した風呂等に入っている水のなかで菌が増殖し、それらをエアロゾルとして吸い込むことで感染します。人から人の感染はありません。
- ・50歳代以上に発症者が多く、農作業での感染が疑われる例があることから、高齢者は特に注意が必要です。
- ・感染すると肺炎を発症しやすく、全身倦怠感、頭痛などに始まり高熱、呼吸困難が見られるようになります。菌を吸い込んででも誰もが発症するわけではなく、基礎疾患がある高齢者や免疫力の低下している人で肺炎を起こす危険性が高いです。
- ・レジオネラ属菌に有効な抗生剤の投与を行います。
- ・容器や機械内の水を交換し洗浄する、低温又は高温に保つ等で環境を清浄に保ち、レジオネラ属菌の増殖を防ぎましょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594